

表 1 0 - 3 プランクトン同定計数結果

亀山ダム貯水地

採取地 点			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日			H 20. 4. 17	H 20. 4. 17	H 20. 4. 17
採 取 時 刻			10:05	9:43	10:33
全 水 深 (m)			21.0	16.0	16.0
採 取 水 深 (m)			0.20	0.20	0.20
採 水 量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出 現 種 名		
1	藍 色 植 物	藍 藻	Aphanizomenon sp.	+	
2	ク リ プ ト 植 物	ク リ プ ト 藻	Cryptomonas spp.	188	244
3			CRYPTOPHYCEAE	16	112
4			Peridiniaceae	40	8
5	渦 鞭 毛 植 物	渦 鞭 毛 藻	DINOPHYCEAE	16	24
6			Dinobryon spp.		44
7			Mallomonas spp.	40	20
8	不 等 毛 植 物	珪 藻	Asterionella formosa	24	+
9			Aulacoseira distans	48	88
10			Aulacoseira sp.	12	
11			Fragilaria crotonensis		+
12			Navicula sp.		4
13			Nitzschia spp.		4
14			Skeletonema potamos	28	
15			Synedra acus	1170	1500
16			Synedra spp.		4
17			Thalassiosiraceae-5	2760	2760
18			Thalassiosiraceae-10	372	388
19			Thalassiosiraceae-25	44	68
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	256	64
21	緑 色 植 物	緑 藻	Chlorogonium spp.		8
22			Closterium spp.	+	+
23			Dictyosphaerium sp.	+	
24			Elakatothrix sp.	8	
25			Eudorina sp.		+
26			Monoraphidium spp.	160	48
27			Scenedesmus spp.	64	112
28			Sphaerocystis schroeteri	64	
29			CHLOROPHYCEAE	60	8
30	節 足 動 物	甲 殻	CRUSTACEA		
31	輪 形 動 物	輪 虫	Keratella sp.		1
32			Polyarthra sp.	+	1
33	繊 毛 虫	多 膜 口	EUROTATOREA	+	
34			Tintinnidium spp.	6	4
35			Tintinnopsis sp.		+
36	不 明 プ ラ ン ク ト ン	—	CILIOPHORA	16	20
37			微小鞭毛藻（5 μ m以下）	3940	5050
38			鞭毛藻	984	648
総 数			10316	11222	26252
種 類 組 成			藍 色 藻	0	0
			ク リ プ ト 藻	204	356
			渦 鞭 毛 藻	56	32
			黄 金 色 藻	40	64
			珪 藻	4458	4816
			ユ ー グ レ ナ 藻	256	64
			緑 藻	356	168
			そ の 他 の 植 物 性	4924	5698
			動 物 性	22	24
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理	
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。	
			検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～ 400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
			検 鏡 者 所 属 氏 名	（財）千葉県環境財団 浄化槽検査管理チーム 早川雅久	
備 考					
・ 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。					
・ 計数値の単位は、「細胞／ml」又は「個体／ml」である。					
・ 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。					
・ 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を＋で示した。					
・ 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。					
・ 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。					
・ 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の3種類について各々計数した。					
また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。					
・ 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μ m、1 0 μ m、2 5 μ m）で区別して各々計数した。					
・ 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。					
・ 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。					

亀山ダム貯水地

採 取 地 点			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋		
採 取 年 月 日			H 20. 5. 27	H 20. 5. 27	H 20. 5. 27		
採 取 時 刻			10:12	10:55	11:10		
全 水 深 (m)			21.0	16.0	16.0		
採 取 水 深 (m)			0.20	0.20	0.20		
採 水 量 (ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出 現 種 名				
1	藍 色 植 物	藍 藻	Aphanizomenon spp.	2	+		
2		ク リ プ ト 植 物	ク リ プ ト 藻	110	220		
3			CRYPTOPHYCEAE	10	50		
4		渦 鞭 毛 植 物	渦 鞭 毛 藻	20	20		
5	不 等 毛 植 物	黄 金 色 藻	Mallomonas sp.		10		
6		珪 藻	Attheya zachariasii		10		
7			Aulacoseira ambigua	130	27		
8			Aulacoseira distans	+	20		
9			Aulacoseira granulata	160	12		
10			Nitzschia spp.		20		
11			Synedra acus		1		
12			Thalassiosiraceae-5	36800	30300		
13			Thalassiosiraceae-10	430	460		
14			Thalassiosiraceae-25	20	20		
15	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	30	10	+		
16	緑 色 植 物	緑 藻	Ankyra ancora		+		
17			Eudorina sp.		10		
18			Monoraphidium spp.		32		
19			Pandorina morum		40		
20			Scenedesmus spp.	+	+		
21			Schroederia spp.	+	+		
22			CHLOROPHYCEAE	10	+		
23			節 足 動 物	甲 殻	CRUSTACEA	1	
24			輪 形 動 物	輪 虫	Keratella sp.		1
25					Polyarthra spp.	1	1
26	繊 毛 虫	多 膜 口	Tintinnopsis sp.		+		
27			－	CILIOPHORA		20	
28	不 明 プ ラ ン ク ト ン		微小鞭毛藻 (5 μ m以下)	1790	3670		
29			鞭毛藻	170	280		
総 数			39684	35151	38470		
種 類 組 成			藍 藻	2	0		
			ク リ プ ト 藻	120	270		
			渦 鞭 毛 藻	20	0		
			黄 金 色 藻	0	0		
			珪 藻	37540	30838		
			ユ ー グ レ ナ 藻	30	10		
			緑 藻	10	82		
			そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	1960	3950		
				2	1		
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理			
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離 (1230× g) により濃縮した。			
			検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤 (1.0ml及び0.5ml) に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100～ 400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
			検 鏡 者 所 属 氏 名	(財)千葉県環境財団 浄化槽検査管理チーム 早川雅久			
備 考							
・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に () を付した。 ・定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の3種類について各々計数した。 また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μ m、10 μ m、25 μ m) で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。							

亀山ダム貯水地

採取地			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋	
採 取 年 月 日			H 20. 6. 17	H 20. 6. 17	H 20. 6. 17	
採 取 時 刻			11:53	12:20	11:25	
全 水 深 (m)			20.9	15.7	16. 3	
採 取 水 深 (m)			0.20	0.20	0.20	
採 水 量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出 現 種 名			
1	藍 色 植 物	藍 藻	Anabaena (直線トリコーム)	(48)	(14)	
2			Aphanizomenon sp.			
3			Oscillatoria sp.			
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	136	160	
5			CRYPTOPHYCEAE	64	24	
6			渦鞭毛藻	112	52	
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	16		
8			珪 藻	Asterionella formosa	164	208
9				Attheya zachariasii	108	8
10				Aulacoseira ambigua	+	156
11				Aulacoseira distans	+	
12				Nitzschia sp.		4
13				Rhizosolenia longiseta		12
14				Synedra acus	1	
15				Synedra ulna	1	
16				Thalassiosiraceae-5	394	358
17				Thalassiosiraceae-10	8	16
18				Thalassiosiraceae-25	36	16
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻		Trachelomonas spp.	16	64
20	緑 色 植 物	緑 藻	Closterium spp.	+	+	
21			Coelastrum spp.	320	256	
22			Eudorina spp.	672	480	
23			Lambertia judayi	164	80	
24			Monoraphidium spp.	36	16	
25			Oocystis spp.	8	+	
26			Pandorina morum	928	1150	
27			Pediastrum boryanum		+	
28			Pediastrum duplex	+	+	
29			Pediastrum tetras	+		
30			Scenedesmus spp.	80	16	
31			Schroederia spp.	172	20	
32			Sphaerocystis schroeteri	256		
33			Staurastrum spp.		3	
34	Tetrastrum staurogeniaeforme					
35	CHLOROPHYCEAE	104	244			
36	輪 形 動 物	輪 虫	Polyarthra spp.	9	6	
37			Trichocercidae		1	
38			ELUROTATOREA		+	
39	繊 毛 虫	多 膜 口	Tintinnopsis spp.	+	1	
40			CILIOPHORA	4	4	
41	不 明 プ ラ ン ク ト ン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	1430	3190	
42			鞭毛藻	128	88	
総 数			5415	6631	11446	
種 類 組 成			藍 藻	48	14	
			ク リ プ ト 藻	200	184	
			渦 鞭 毛 藻	112	52	
			黄 金 色 藻	16	0	
			珪 藻	712	762	
			ユ ー グ レ ナ 藻	16	64	
			緑 藻	2740	2265	
			そ の 他 の 植 物 性	1558	3278	
			動 物 性	13	12	
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタールアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理		
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。		
			検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレバートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
			検 鏡 者 所 属 氏 名	（財）千葉県環境財団 浄化槽検査管理チーム 早川雅久		
備 考			・定性検鏡において、永久プレバートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の3種類について各々計数した。 また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。			

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			H 20. 7. 2	H 20. 7. 2	H 20. 7. 1 2		
採取時刻			9:03	9:40	10:33		
全水深 (m)			17.7	17.9	17.0		
採取水深 (m)			0.20	0.20	0.20		
採水量 (ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(23)	(12)		
2			Anabaena (螺旋トリコーム)		+		
3			Aphanizomenon spp.	(21)	(16)		
4			CYANOPHYCEAE (トリコーム)	(10)	(32)		
5	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	40	230		
6			CRYPTOPHYCEAE		10		
7			Peridiniaceae	10	100		
8			Mallomonas spp.	80	30		
9			Asterionella formosa	160	43		
10			Attheya zachariasii	980	330		
11			Aulacoseira ambigua	46	20		
12			Aulacoseira distans	290	60		
13			Aulacoseira granulata	63	+		
14			Fragilaria crotonensis	370	140		
15			Rhizosolenia longiseta	310	50		
16			Synedra acus	17	40		
17			Thalassiosiraceae-5	6540	6630		
18			Thalassiosiraceae-10	400	180		
19			Thalassiosiraceae-25	40	20		
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	+	10		
21	緑色植物	緑藻	Closteriopsis longissima	20	1		
22			Closterium spp.		+		
23			Coelastrum spp.	720	+		
24			Eudorina elegans		+		
25			Eudorina spp.	320			
26			Lambertia judayi	20	20		
27			Monoraphidium spp.	60	40		
28			Oocystis sp.	40			
29			Pandorina morum	10800	96		
30			Pediastrum biradiatum		+		
31			Pediastrum duplex	240	92		
32			Pediastrum tetras	+			
33			Scenedesmus spp.	160	+		
34			Schroederia spp.	50			
35			Staurastrum spp.	2			
36			CHLOROPHYCEAE	480	140		
37			輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		
38					Trichocercidae	2	
39					EUROTATOREA		1
40			繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		1
41	Tintinnopsis spp.				1		
42	CILIOPHORA	20			10		
43	不明プランクトン	微小鞭毛藻 (5 μm以下)		3130	4660		
44			鞭毛藻	230	360		
総数			25694	13340	21657		
種類組成			藍藻	54	25		
			クリプト藻	40	240		
			渦鞭毛藻	10	100		
			黄金色藻	80	30		
			珪藻	9216	7513		
			ユーグレナ藻	0	10		
			緑藻	12912	389		
			その他の植物性動物性	3360	5020		
				22	13		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタールアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理			
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。			
			検鏡条件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
			検鏡者所属氏名	（財）千葉県環境財団 浄化槽検査管理チーム 早川雅久			
備考							
・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。							
・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。							
・細胞数の計数が困難である種については、群休数で計数してその結果に（ ）を付した。							
・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。							
・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。							
・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。							
・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis, M.wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis, M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa, M.viridis, M.wesenbergii の3種類について各々計数した。							
また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。							
・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。							
・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。							
・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。							

亀山ダム貯水地

採取地			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋	
採 取 年 月 日			H 20. 8. 19	H 20. 8. 19	H 20. 8. 19	
採 取 時 刻			10:15	10:45	9:16	
全 水 深 (m)			16. 2	14. 8	15. 8	
採 取 水 深 (m)			0. 20	0. 20	0. 20	
採 水 量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出 現 種 名			
1	藍 色 植 物	藍 藻	Anabaena (直線トリコーム)	(80)	(120)	+
2			Anabaena (螺旋トリコーム)	+		
3			Aphanizomenon spp.	+	+	
4			Lyngbya sp.		+	
5			Microcystis aeruginosa	+		
6			Microcystis viridis	+		
7			Oscillatoria sp.	(15)	(5)	
8			Phormidium sp.	(100)	(20)	(40)
9	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas sp.	60	20	60
10			CRYPTOPHYCEAE		+	
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1		
12			Peridinium sp.	5	5	
13	不 等 毛 植 物	黄 金 色 藻	Mallomonas tonsurata	40	20	40
14			Mallomonas sp.	80	100	
15		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		20	
16		珪 藻	Amphora sp.	20		
17			Attheya zachariasii	120	20	200
18			Aulacoseira ambigua	+	90	260
19			Aulacoseira distans		40	
20			Aulacoseira granulata	360	35	1680
21			Fragilaria construens		100	40
22			Fragilaria crotonensis	60		160
23			Nitzschia sp.	20	20	
24			Rhizosolenia longiseta	5	40	160
25			Synedra acus	120	20	480
26			Synedra berolinensis	+		
27			Synedra sp.	20		
28			Thalassiosiraceae-5	40	80	140
29			Thalassiosiraceae-10	80	140	
30			Thalassiosiraceae-25	40	40	80
31	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20	20
32	緑 色 植 物	緑 藻	Ankya ancora	20	40	40
33			Chlorella sp.	60	60	20
34			Closterium spp.		5	
35			Coelastrum cambricum			80
36			Coelastrum sphaericum			320
37			Coronastrum lunatum			80
38			Dichotomococcus sp.			60
39			Didymocystis sp.	40		
40			Elakatothrix sp.	40		30
41			Eudorina elegans		160	
42			Gloeocystis sp.	320	160	
43			Micractinium sp.	80		
44			Monoraphidium spp.	40		80
45			Mougeotia sp.			5
46			Oocystis sp.	100	40	180
47			Pediastrum duplex	+		80
48			Scenedesmus denticulatus			20
49			Scenedesmus ecornis			20
50			Scenedesmus quadricauda		20	20
51			Scenedesmus spp.	180	60	80
52			Schroederia setigera	260	120	300
53			Sphaerocystis schroeteri	640	400	320
54			Staurastrum spp.	40	60	+
55			Tetraedron minimum		5	20
56			Westella botryoides			60
57			Chlamydomonadaceae	20	20	160
58			CHLOROPHYCEAE	100	60	220
59	輪 形 動 物	輪 虫	Polyarthra sp.	1	5	
60	繊 毛 虫	ー	CILIOPHORA	5	10	
61	不 明 プ ラ ン ク ト ン		微小鞭毛藻 (5 μ m以下)	6400	17200	10000
62			鞭毛藻		40	
総 数			9632	19420	15580	
種 類 組 成			藍 色 藻	195	145	40
			ク リ プ ト 藻	60	20	60
			渦 鞭 毛 藻	6	5	0
			黄 金 色 藻	120	120	40
			珪 藻	885	625	3200
			ユ ー グ レ ナ 藻	20	20	40
			緑 藻	1940	1210	2200
			そ の 他 の 植 物 性	6400	17260	10000
			動 物 性	6	15	0
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理		
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。		
			検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
検 鏡 者 所 属 氏 名			(財)千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫			
備 考			・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体系で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wessenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wessenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wessenbergii の3種類について各々計数した。 また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μ m、10 μ m、25 μ m）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。			

魚山ダム貯水地

採取地点			堤体直上流部		小月橋		亀山大橋			
採取年月日			H 20. 9. 18		H 20. 9. 18		H 20. 9. 18			
採取時刻			8:49		9:17		8:19			
全水深 (m)			14.0		14.6		15.3			
採取水深 (m)			0.20		0.20		0.20			
採取水量 (ml)			100		100		100			
No.	門	綱	出現種名							
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)		(12)	(8)	(15)			
2			Aphanizomenon sp.		(8)	(5)	(5)			
3			Microcystis aeruginosa		700		200			
4			Oscillatoria spp.		(10)	(3)	(8)			
5			Phormidium sp.		(3)					
6	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		600	540	20			
7			CRYPTOPHYCEAE		400	420	760			
8	渦鞭毛植物 不等毛植物	渦鞭毛藻 黄金色藻 ラフィド藻 珪藻	Ceratium hirundinella		10	3	3			
9			Mallomonas spp.		+	20	4			
10			RAPHIDOPHYCEAE			3	8			
11			Attheya zachariasii				+			
12			Aulacoseira ambigua			+				
13			Aulacoseira granulata				30			
14			Navicula sp.		2					
15			Synedra acus		15	3	5			
16			Thalassiosiraceae-5		40					
17			Thalassiosiraceae-10		40					
18			Thalassiosiraceae-25			10				
19			Trachelomonas sp.			+				
20			EUGLENOPHYCEAE		5	3				
21			緑色植物	緑藻	Closterium spp.		8	3	+	
22	Coelastrum sp.					20				
23	Eudorina elegans					160	160			
24	Eudorina sp.					128				
25	Gloeocystis sp.						+			
26	Golenkinia radiata						20			
27	Gonium pectorale					80	40			
28	Micractinium sp.					25				
29	Mougeotia spp.				25		+			
30	Pediastrum duplex					60	120			
31	Pediastrum simplex				+	+	90			
32	Pediastrum tetras						+			
33	Pediastrum sp.				20					
34	Planktosphaeria gelatinosa				120		40			
35	Sphaerocystis schroeteri				320	64	130			
36	Staurostrum sp.				10	3	5			
37	CHLOROPHYCEAE						60			
38	節足動物	甲殻			CRUSTACEA			1		
39					輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.			+
40							Trichocercidae			4
41					繊毛虫	一	CILIOPHORA		1	3
42	肉質鞭毛虫	葉状根足虫			LOBOSEA		1		3	
43	不明プランクトン				微小鞭毛藻（5 μm以下）		2800	1400	800	
44					鞭毛藻				100	
総数					5150	2965	2635			
種類組成			藍藻		733	16	228			
			クリプト藻		1000	960	780			
			渦鞭毛藻		10	3	3			
			黄金色藻		0	20	4			
			珪藻		97	13	35			
			ユーグレナ藻		5	3	0			
			緑藻		503	543	665			
			その他の植物性動物		2800	1403	908			
					2	4	12			
検査条件			固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理					
			分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。					
			検鏡条件		定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。					
			検鏡者所属氏名		（財）千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫					
備考										
・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。 また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。										

魚山ダム貯水地

採取地点			堤体直上流部		小月橋		亀山大橋		
採取年月日			H 20. 10. 16		H 20. 10. 16		H 20. 10. 16		
採取時刻			13:49		14:24		13:11		
全水深 (m)			19.3		14.2		16.4		
採取水深 (m)			0.20		0.20		0.20		
採水量 (ml)			100		100		100		
No.	門	綱	出現種名						
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)		(1)				
2			Microcystis aeruginosa	75					
3			Phormidium sp.	(5)					
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		15				
5			CRYPTOPHYCEAE	400					
6			Ceratium hirundinella	20					
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodiniaceae		+				
8	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		5				
9			Mallomonas tonsurata	5					
11			Mallomonas sp.	15					
12			Asterionella formosa	20					
13			Aulacoseira ambigua	55					
14		Aulacoseira distans	6						
15		Aulacoseira granulata	200		55				
16		Fragilaria crotonensis	320		40				
17		Navicula sp.	5						
18		Nitzschia acicularis			5				
19		Nitzschia spp.	10						
20		Skeletonema potamos	40		200				
21		Synedra acus			+				
22		Thalassiosiraceae-5	2400		6800				
23		Thalassiosiraceae-10			200				
24		ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.		10			
25				EUGLENOPHYCEAE					
26		緑色植物	緑藻	Ankyra ancora		100			
27				Closterium spp.	+				
28	Dictyosphaerium spp.			20					
29	Elakatothrix sp.								
30	Eudorina elegans			2080		160			
31	Eudorina sp.			640					
32	Oocystis spp.					40			
33	Pediastrum duplex			60		80			
34	Pediastrum simplex					+			
35	Pediastrum sp.					+			
36	Planktosphaeria gelatinosa			320		360			
37	Scenedesmus spp.					20			
38	Sphaerocystis schroeteri			80					
39	Stauroastrum spp.			2		1			
40	CHLOROPHYCEAE			20		20			
41	節足動物			甲殻	CRUSTACEA		1		
42	繊毛虫			多膜口	Tintinnopsis spp.		4		
43					CILIOPHORA	1			
44	肉質鞭毛虫			葉状根足虫	LOBOSEA		1		
45	不明プランクトン				微小鞭毛藻 (5 μm以下)		4200		
46		鞭毛藻	40		200				
総数					11164				
種類組成					10131				
			藍藻		81				
			クリプト藻		415				
			渦鞭毛藻		20				
			黄金色藻		20				
			珪藻		3050				
			ユーグレナ藻		10				
			緑藻		3322				
			その他の植物性動物性		4240				
			動物性		6				
検査条件			固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理				
			分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。				
			検鏡条件		定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。				
			検鏡者所属氏名		（財）千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫				
備考									
・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。									
・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。									
・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。									
・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。									
・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。									
・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。									
・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。									
また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。									
・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。									
・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。									
・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。									

亀山ダム貯水地

採取地 点			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋			
採取 年 月 日			H 20. 11. 4	H 20. 11. 4	H 20. 11. 4			
採取 時 刻			8:55	9:25	9:59			
全 水 深 (m)			18.2	15.5	17.2			
採取 水 深 (m)			0.20	0.20	0.20			
採 水 量 (ml)			100	100	100			
No.	門	綱	出 現 種 名					
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	40	80	10		
2			CRYPTOPHYCEAE	460	80	90		
3			渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1		
4			不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		+	20
5				ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	10		
6				珪藻	Asterionella formosa		5	4
7					Aulacoseira ambigua	5	10	
8					Aulacoseira distans		10	10
9					Aulacoseira granulata	5		5
10					Fragilaria crotonensis		10	
11					Synedra acus	1	1	
12					Synedra berolinensis			40
13					Synedra sp.	3	5	3
14					Thalassiosiraceae-5	140	220	60
15					Thalassiosiraceae-10	20		
16			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	5	25	5
17			緑色植物	緑藻	Closterium spp.	5	5	1
18					Eudorina elegans			80
19					Eudorina sp.		32	32
20					Monoraphidium spp.		5	
21					Staurastrum sp.	1		
22					CHLOROPHYCEAE	40	20	20
23	輪形動物	輪虫			Polyarthra sp.	1		
24	繊毛虫	ー			CILIOPHORA			1
25	不明プランクトン		微小鞭毛藻（5 μm以下）	1280	860	1060		
26			鞭毛藻	80	60	70		
総 数			2129	1396	1511			
種 類 組 成			藍 藻	0	0	0		
			ク リ プ ト 藻	500	160	100		
			渦 鞭 毛 藻	1	0	0		
			黄 金 色 藻	0	0	20		
			珪 藻	174	261	122		
			ユ ー グ レ ナ 藻	5	25	5		
			緑 藻	78	30	133		
			そ の 他 の 植 物 性	1370	920	1130		
			動 物 性	1	0	1		
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理				
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。				
			検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。				
			検 鏡 者 所 属 氏 名	（財）千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫				
備 考								
・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。								
・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。								
・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。								
・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。								
・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。								
・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。								
・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の3種類について各々計数した。								
また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。								
・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。								
・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。								
・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。								

亀山ダム貯水地

採取地 点			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日			H 21. 1. 15	H 21. 1. 15	H 21. 1. 15
採 取 時 刻			12:00	14:05	10:12
全 水 深 (m)			20.7	15.3	16.4
採 取 水 深 (m)			0.20	0.20	0.20
採 水 量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出 現 種 名		
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	10	110
2			CRYPTOPHYCEAE	30	260
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		+
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas tonsurata		10
5			Mallomonas sp.		10
6			Synura sp.		10
7			Achnanthes sp.	10	
8			Aulacoseira ambigua	12	80
9			Aulacoseira distans	100	
10			Aulacoseira granulata		2
11			Fragilaria crotonensis		28
12			Gomphonema sp.		5
13			Melosira varians		2
14			Nitzschia sp.	50	10
15			Skeletonema potamos	30	
16			Synedra acus	10	5
17			Thalassiosiraceae-5	40	20
18			Thalassiosiraceae-10	110	70
19			Thalassiosiraceae-25	60	20
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas sp.		10
21	緑 色 植 物	緑 藻	Closterium spp.	2	40
22			Monoraphidium sp.	20	
23			Oocystis sp.	40	
24			Scenedesmus sp.	40	
25			Chlamydomonadaceae		10
26			CHLOROPHYCEAE		10
27	織 毛 虫	キネトフラグミノフォーラ	KINETOPHAGMINOPHORA		1
28	不明プランクトン	—	CILIOPHORA		2
29		微小鞭毛藻 (5 μ m以下)	270	40	
30		鞭毛藻	80	30	
31		鞭毛虫		10	
総 数			914	782	1265
種 類 組 成			藍 藻	0	0
			ク リ プ ト 藻	40	370
			渦 鞭 毛 藻	0	0
			黄 金 色 藻	0	20
			珪 藻	422	242
			ユ ー グ レ ナ 藻	0	10
			緑 藻	102	60
			そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	350	70
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理	
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離 (1230×g) により濃縮した。	
			検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤 (1.0ml及び0.5ml) に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡 (100～ 400倍) で検鏡した。 定性試料：プレバートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
			検 鏡 者 所 属 氏 名	(財) 千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫	
備 考			・ 定性検鏡において、永久プレバートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・ 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・ 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に () を付した。 ・ 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・ 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 ・ 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・ 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の3種類について各々計数した。 また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。 ・ 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μ m、10 μ m、25 μ m) で区別して各々計数した。 ・ 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・ 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。		

亀山ダム貯水地

採取地点			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋		
採 取 年 月 日			H 21. 2. 17	H 21. 2. 17	H 21. 2. 17		
採 取 時 刻			10:01	10:57	11:58		
全 水 深 (m)			16.9	14.7	15.6		
採 取 水 深 (m)			0.20	0.20	0.20		
採 水 量 (ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出 現 種 名				
1	藍 色 植 物	藍 藻	Oscillatoria sp.	(1)			
2			Phormidium sp.	(1)			
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	7	32		
4			CRYPTOPHYCEAE	9	440	510	
5	渦鞭毛植物	渦 鞭 毛 藻	Peridinium penardii	15	900	180	
6			Peridinium sp.		5	15	
7	不 等 毛 植 物	黄 金 色 藻	Mallomonas sp.		3		
8			Synura sp.		1090	230	
9			CHRYSTOPHYCEAE	2	58	230	
10		珪 藻	Asterionella formosa	7	10	12	
11			Aulacoseira ambigua	20	24	25	
12			Aulacoseira distans	2	6	4	
13			Aulacoseira granulata		3		
14			Gomphonema parvulum	1			
15			Melosira varians		12		
16			Navicula sp.	1			
17			Synedra acus	1		3	
18			Thalassiosiraceae-5	27	25	110	
19			Thalassiosiraceae-10	40	57	190	
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.		2	20	
21	緑 色 植 物	緑 藻	Closterium sp.	1	1		
22			Dictyosphaerium sp.	40	24		
23			Monoraphidium sp.			1	
24			Pediastrum asymmetricum		16	16	
25			Chlamydomonadaceae			2	
26			CHLOROPHYCEAE			9	
27	織 毛 虫	多 膜 口	Tintinnopsis spp.	7	25	9	
28		－	CILIOPHORA	1			
29	不明プランクトン		微小鞭毛藻（5 μ m以下）	400	220	140	
30			鞭毛藻	90	160	230	
総 数			665	3088	1969		
種 類 組 成			藍 藻	1	1	0	
			ク リ プ ト 藻	9	447	542	
			渦 鞭 毛 藻	15	905	195	
			黄 金 色 藻	2	1151	460	
			珪 藻	99	137	344	
			ユ ー グ レ ナ 藻	0	2	20	
			緑 藻	41	40	29	
			そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	490	380	370	
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理			
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。			
			検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
			検 鏡 者 所 属 氏 名	(財)千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫			
備 考							
・ 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・ 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・ 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・ 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・ 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・ 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・ 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wesenbergii の3種類について各々計数した。 また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。 ・ 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μ m、10 μ m、25 μ m）で区別して各々計数した。 ・ 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・ 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。							

亀山ダム貯水地

採取地 点				堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日				H 21. 3. 2	H 21. 3. 2	H 21. 3. 2
採 取 時 刻				9:13	9:55	10:43
全 水 深 (m)				17.5	15.9	16.8
採 取 水 深 (m)				0.20	0.20	0.20
採 水 量 (ml)				100	100	100
No.	門	綱	出 現 種 名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	3	20	20
2			CRYPTOPHYCEAE	24	410	530
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium penardii	16	5	11
4			Peridinium sp.	2		
5	不等毛植物	黄金色藻	Synura spp.	119	816	21
6			CHRYSOPHYCEAE		21	3
7		珪藻	Amphora sp.	7	1	
8			Asterionella formosa	4	25	11
9			Synedra acus	1		
10			Thalassiosiraceae-5	40	140	200
11			Thalassiosiraceae-10	20	160	300
12			Thalassiosiraceae-25		1	4
13	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	6	8	3
14			Euglena sp.			1
15	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	2	1	
16			Closterium sp.	1	1	
17			Monoraphidium sp.	1	1	
18			Oocystis spp.		4	
19	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.	16	3	7
20	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		1	
21	不明プランクトン		微小鞭毛藻（5 μm以下）	320	360	480
22			鞭毛藻	170	480	560
23			鞭毛虫			100
総 数				751	2458	2251
種 類 組 成			藍藻	0	0	0
			クリプト藻	27	430	550
			渦鞭毛藻	18	5	11
			黄金色藻	119	837	24
			珪藻	72	327	515
			ユーグレナ藻	6	8	4
			緑藻	3	7	0
			その他の植物性動物	490	840	1040
				16	4	107
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理		
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料40mlを遠心分離（1230×g）により濃縮した。		
			検 鏡 条 件	定量試料：専用計数盤（1.0ml及び0.5ml）に検鏡試料を注入して一 昼夜放置後、倒立型顕微鏡（100～ 400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
			検 鏡 者 所 属 氏 名	（財）千葉県環境財団 環境調査グループ 鶴岡由紀夫		
備 考						
・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。						
・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。						
・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。						
・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。						
・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。						
・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。						
・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M.viridis、M.wessenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M.viridis、M.wessenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M.aeruginosa として同定し、M.aeruginosa、M.viridis、M.wessenbergii の3種類について各々計数した。						
また、単独細胞を計数したものは、すべて M.aeruginosa とした。						
・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。						
・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。						
・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。						